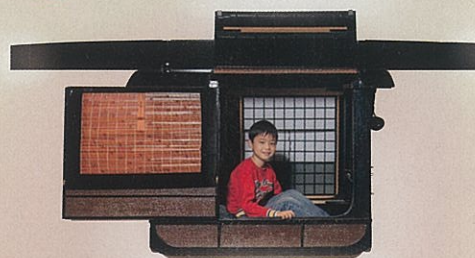




江戸東京博物館 NEWS vol. 88

 EDO-TOKYO MUSEUM



特別展

「探検! 体験! 江戸東京」

Explore! Experience! Edo-Tokyo

常設展示室から

常設展示室をリニューアルします!

◆研究の散歩道

◆えどはくカルチャー

◆たてもの園から

◆2015年(平成27) 開館・休館日カレンダー

◆図書室だより



特別展

「探検！ 体験！ 江戸東京」

Explore! Experience! Edo-Tokyo

江戸東京博物館は、二〇一五年（平成二七）三月二八日のリニューアルオープンに向けて、しばらく五・六階の常設展示室をお休みします。その間、博物館は休館

江戸東京博物館
公式キャラクター
ギボちゃん



してしまうの？ いえいえ、そんなことはありません。常設展示のエッセンスを集めて、一階の展示室にお目見えします。いつもは広い空間で模型類とともに展示されているさまざま



「名所江戸百景 亀戸梅屋舗」歌川広重/画 1857年(安政4)
資料番号:83200030 展示期間:12/2-12/27 ※1/6からは複製を展示します。

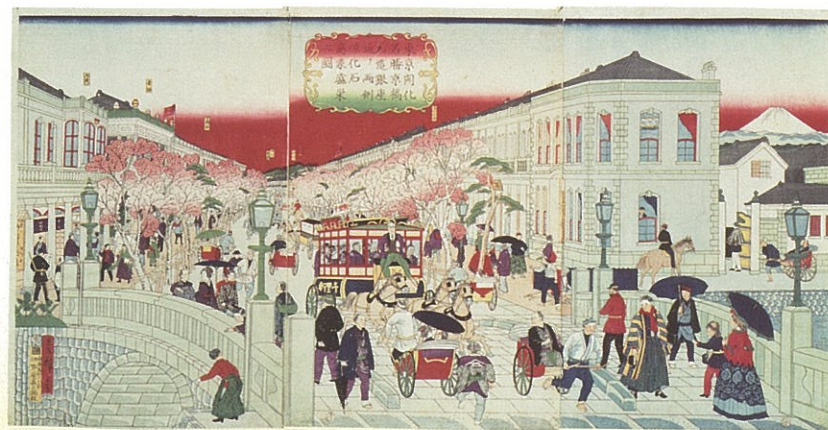
な資料を選び抜いてコンパクトにまとめ、その魅力をより丁寧に紹介する企画です。



修学旅行や社会科見学などで、当館をご利用くださっている学校団体のみなさまや海外からのお客さまにも、楽しんでいただけるような工夫をしました。普段は展示されることが少ない資料や、珍しい資料、あるいは教科書などで「これ見たことあるよね」と思う、誰にでもなじみ深い資料が登場します。

この展覧会は、徳川家康の江戸開府に始まり、戦後の高度成長期にいたるまでの、江戸東京の歴史や文化を、七章立てで紹介していきます。また、海外から高く評価されている、江戸の美を紹介するコーナーも盛りだくさんです。

さらにこの展覧会では、常設展示にはない二つのコラム展示を設けています。一つは、和紙をテーマにし、日本の暮らしの中で紙がさまざまな形で生かされていることを紹介します。もう一つは、ズバリ「江戸東京レアグッズ」です。博物館のコレクションの中から、ちよつと変わった資料たちをお見せします。



「東京開化名勝京橋石造銀座通り両側煉化石商家盛栄之図」三代歌川広重/画 1874年(明治7) 資料番号:88208046-88208048 展示期間:2/3-3/8

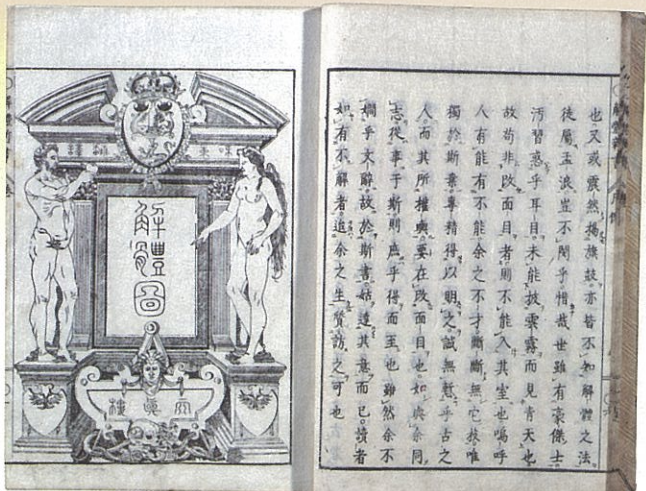
江戸東京博物館の常設展示といえば、体験できる乗り物が人気でした。それはどうなるの？ ご安心ください。ここでは、人力車など常設展示室でおなじみの乗り物も大集合。肥桶や千両箱の重さを体験するコーナーも、今までと同じように楽しめます。

そして、この展覧会では、おなじみの江戸東京博物館公式キャラクターの江戸東京博物館公式キャラクター



大名の駕籠に乗ってみよう

『解体新書』杉田玄白/著 1774年(安永3) 資料番号:90360901 全期間展示



ラクターのギボちゃん、本展オリジナルキャラクターの遠山の金さん、樋口一葉の三人が、ナビゲーターをつとめます。常設展示室の大き間に負けない、充実の展覧会です。子供から大人まで、江戸東京の歴史探検をお楽しみください。そして、三月末のリニューアルオープンを、どうぞご期待ください。



樋口一葉

会期 2014年(平成26)12月2日(火)～2015年(平成27)3月8日(日)

- 休館日 毎週月曜日、年末年始(2014年12月28日(日)～2015年1月5日(月)) ※ただし、2015年1月12日(月)、1月19日(月)は開館
- 開館時間 午前9時30分～午後5時30分(土曜日は午後7時30分まで) ※入館は閉館の30分前まで ※会期中、展示替えがあります。(前期:2014年12月2日(火)～12月27日(土) 中期:2015年1月6日(火)～2月1日(日) 後期:2015年2月3日(火)～3月8日(日))

観覧料金(税込)	特別展当日券
一般	300円(240円)
大学生・専門学校生	240円(190円)
中学生(都外)・高校生・65歳以上	150円(120円)

※()内は、20名以上の団体料金。
※次の場合は、観覧料が無料です。未就学児、小学生、都内在住・在学中の中学生、身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付き添いの方(2名まで)。
※特別展当日券の販売は江戸東京博物館のみ。

主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、朝日新聞社

次回予告

徳川家康没後400年記念特別展 「大関ヶ原展」

会期 2015年(平成27) 3月28日(土)～5月17日(日)

一六〇〇年(慶長五)の天下分け目の関ヶ原の合戦。この戦いを制したのは、東軍を率いた徳川家康でした。二〇一五年(平成二七)は、一六一六年(元和二)に亡くなった家康の没後四〇〇年目にあたります。

合戦はなぜ起こり、どのような時代を準備したのでしょうか。古文書や各大家の武器・絵画などにより、その全体像を振り返ります。また最新の手法を取り入れた映像技術により、合戦の実像に迫ります。

関ヶ原の合戦を新しい視点で見つめ、歴史の転換期を考える展覧会です。次なる時代へのスタートとなった関ヶ原の合戦に、みなさまの新たな視線を注いでいただければ幸いです。



「関ヶ原合戦絵巻 下」(関ヶ原での布陣の場面) 1847年(弘化4) 資料番号:96200017

3月28日(土)は江戸東京博物館の開館記念日です。この日、常設展示室がリニューアルオープンします。それを記念して、2015年(平成27)3月28日(土)～31日(火)の4日間は常設展入場料のみ無料になります。

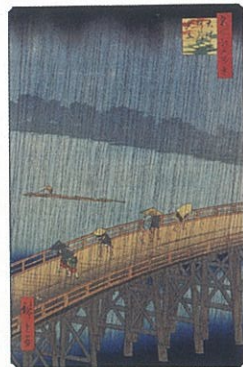
**開館記念日&リニューアル記念
3月28日～31日は
常設展入場料無料デーです!**

リニューアルオープン記念の 企画展を開催します!

リニューアルオープンにあわせ、2015年(平成27)3月28日(土)から5月10日(日)まで5階常設展示室・第2企画展示室にて企画展を開催いたします。普段なかなかご覧いただけなかった資料をまとめて紹介する予定です。どうぞご来場下さい。



「江戸名所百人美女の内
新大はし」
歌川国貞(初代)、歌川国久/画
1858年(安政4)2月
資料番号:91220181



「名所江戸百景
(大はしあたけの夕だち)」
歌川広重/画
1858年(安政4)9月
資料番号:83200053

展示ガイドと ふれあい体験教室のお知らせ

ボランティアによる展示ガイドとふれあい体験教室は、常設展示室休室の期間はお休みさせていただきます。



展示ガイドはリニューアルオープンの2015年(平成27)3月28日(土)より、ふれあい体験教室は3月29日(日)より再開いたします。

ふれあい体験教室 歴史散歩「両国界隈」 歴史ある両国の名所を訪ね歩きます。

当日受付

日時:2015年(平成27)3月29日(日)
1回目 10:30～11:30
2回目 14:00～15:00

対象:一般

定員:各回先着15名

集合場所:3階江戸東京ひろば 北側休憩所
各回15分前より受付開始

*天候不良による江戸東京ひろば閉鎖時は中止

ミュージアムショップでは 江戸博オリジナルグッズも増えます!

江戸東京博物館のミュージアムショップでは、子供を災いから守ると伝えられる「赤絵みみずく」シリーズや江戸っ子好みの縞柄をアレンジした「縞」シリーズなど、オリジナルグッズを販売しています。常設展示室リニューアルオープンを機に、これまで好評を博していた「縞」シリーズのグッズデザインを復刻したり、新製品を販売する予定です。どうぞご期待ください!



オリジナルグッズ「縞」シリーズ

常設展示室をリニューアルします!

江戸東京の歴史と文化をわかりやすく、楽しくお伝えする常設展示室。

この常設展示室が、2015年(平成27)3月28日にリニューアルオープンします。

リニューアルオープンに向けて、江戸東京博物館では様々なプロジェクトが進行中です!

改修工事のため、 下記の期間は休室・休館いたします。

- ・常設展示室休室
2014年12月1日(月)～2015年3月27日(金)
- ・全館休館
2015年3月9日(月)～2015年3月27日(金)

館内各施設の映像音響機器も リニューアルします!

常設展示室のリニューアルにあわせ、映像ホールや映像ライブラリー、案内端末、放送設備など館内施設の機器も新しくなります。映像はより明るく、大きく。音響はより聞きやすく。いずれも、利用しやすさを重視した形に生まれ変わり、来館される皆様をお迎えいたします。

また、常設展示室の音声ガイドも、現在より軽量で使いやすいものに一新します。リニューアル後、新たに登場する展示や模型も含め、新しくなる常設展示を盛り上げていきます。

～常設展示室リニューアルよもやま話④～ サインやパネルを一新します!

新しくなる常設展示室のご紹介——今回は快適な鑑賞を目指した改善についてお知らせします。

常設展示室は数多くの模型を配置し、約2,000点の実物資料を展示する大空間です。室内の総面積は8,934平方メートル、坪に換算すると約2,707坪、畳5,414枚分にあたります。これだけの広さなので、お客様の中には目当ての展示物を見つけられなかったり、お連れの方とはぐれてしまう方、ぐったりと疲れた様子の方も見られます。

そこで今回、常設展示室内のどこに何があるのか、各種のわかりやすいサインを表示します。案内地図を見やすくするほか、コーナーサインに番号を振り、展示ゾーンごとに床の色を分けて、位置を確認しやすくします。照明を明るくし、休憩を兼ねた体験展示コーナーを設け、解説パネルのデザインを刷新するなど、「鑑賞疲労」を防ぐための工夫をこらします。さらに、各種表示の外国語訳を増やし、海外からのお客様により楽しんでいただけるよう改善します。

快適な鑑賞環境で、ぜひ展示をお楽しみください。

常設展示室リニューアルをご紹介する 特設ウェブサイトを開設しました!

「リニューアルって言うけど、いったい何が変わるの?」という、みなさまの疑問にお答えするために、リニューアル後の常設展示室をご紹介する特設ウェブサイトを一足早く開設しました。

このサイトでは広い常設展示室をイラストでご案内し、各展示コーナー21か所の見どころをご紹介します。さらに、著名人をゲストに迎え、江戸東京の魅力をお伝えするインタビューもご用意しています。

これを見たらリニューアルオープンが待ち遠しくなること間違いなし! 江戸博ビギナーも江戸博マスターも、まずはウェブサイトで、新たな江戸博をチェックです!

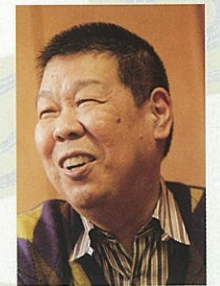
特設ウェブサイトURL: <http://www.edohaku-special.net>
※当館ホームページからもご覧いただけます。



はなさん



山田五郎さん



橋本治さん

今期のおすすめ!! えどはくコレクションの世界

2015年(平成27)3月28日(土)、江戸東京博物館の常設展示室がリニューアルオープンします。それに先立ち、2014年12月2日(火)～2015年3月8日(日)、1階展示室で特別展「探検! 体験! 江戸東京」を開催します。これらにあわせ、江戸東京博物館が誇る貴重なコレクションを紹介する講座を開講します。

◆全4回 受講料:3,200円(2,500円) 申込締切:1月16日(金)

①四谷塩町一丁目文書 …………… 市川寛明(学芸員)

当館が所蔵する四谷塩町一丁目文書は、江戸研究にとって極めて貴重な情報を含んだ資料群です。幕末から明治初期の複数年にわたって、町の住民基本台帳である人別帳が残されている唯一の事例であるという点だけでも、その貴重さは十分に語ることができます。本講座では、この四谷塩町一丁目文書をつかって江戸の町の住民構成や町政の具体的な様子を紹介いたします。

2月5日(木)14:00～15:30

定員:200名 受講料:1,000円(800円) 申込締切:1月16日(金)

②東京都近代文学博物館の旧蔵資料から …………… 湯川説子(学芸員)

東京都近代文学博物館(2002年3月閉館)より引き継いだ原稿、書簡、色紙、絵画などの資料は、約4,800点にのぼります。その中から、樋口一葉、夏目漱石、横光利一らに関わる資料を紹介いたします。

2月12日(木)14:00～15:30

定員:200名 受講料:1,000円(800円) 申込締切:1月23日(金)



夏目漱石「明暗」
反古草稿

③広重・保永堂版「東海道五拾三次」 …………… 江里口友子(都市歴史研究室長)

当館は、歌川広重の代表作・保永堂版「東海道五拾三次」及び「名所江戸百景」を一揃所蔵するほか、彼の遺言状や遺品なども収蔵しています。浮世絵版画は、増版のたびに工程省略や変化が加えられ、色や摺りが異なったり、別作品のようにになってしまう場合もあります。大人気で版を重ねた保永堂版「東海道五拾三次」について、摺りの違いを楽しむとともに、遺品類を通して、広重の人物像にも迫ります。

2月19日(木)14:00～15:30

定員:200名 受講料:1,000円(800円) 申込締切:1月30日(金)

④赤木コレクションと江戸のモノづくり …………… 松井かおる(学芸員)

当館の重要コレクションのひとつ、赤木コレクションは、赤木清士氏旧蔵の科学技術黎明期資料であり、2001年度から2005年度に行われた文部科学省科学研究費補助金による特定領域研究「江戸のモノづくり(略称)」の中核資料となりました。コレクションの概要とともに、調査・研究の成果もご紹介いたします。

2月26日(木)14:00～15:30

定員:200名 受講料:1,000円(800円) 申込締切:2月6日(金)



ワイルキンソンレモン(炭酸)瓶
(赤木コレクションより)

※応募方法や上記以外の講座など、詳しくは館内配架の「えどはくカルチャー」チラシまたは江戸東京博物館ウェブサイトをご覧ください。

たてもの園から



開催中!

「ジブリの立体建造物展」ご好評につき会期延長!!

特別展「ジブリの立体建造物展」がご好評につき会期を延長することになりました。2015年(平成27)3月15日(日)までお楽しみいただけます。

本展は、スタジオジブリ作品に登場する様々な建物にスポットをあてた展覧会で、映画に登場する建物の模型や、建物の設定資料、背景画といった美術資料を展示しています。



©Studio Ghibli

たてもの園内の復元建造物「武居三省堂」の内部には、売り物の筆を収納していた引き出しがあります。引き出しは、

映画「千と千尋の神隠し」の湯屋「油屋」のボイラー室のモデルとされます。

【会期】2014年7月10日(木)～2015年3月15日(日)
(休園日=毎週月曜日、月曜日が祝日の場合はその翌日、12月28日(日)～1月1日(木))

※新年は1月2日(金)より12日(祝・月)まで毎日開園します
※1月2日(金)、3日(土)は入園無料

【開園時間】9時30分～16時30分
(10月1日(水)～3月20日(金))

※入園は開園の30分前まで

詳しいお問い合わせは

江戸東京たてもの園

〒184-0005 小金井市桜町3-7-1(都立小金井公園内)

☎042-388-3300(代表)

http://www.tatemonoen.jp

研究の散歩道

よろみの渡し の 経営事情

都市歴史研究室 学芸員 市川寛明



江都勝景 よろみの渡し 歌川広重/画
資料番号:90203015

荷物を山積みした川船と乗客を乗せて進む渡し船。この物資と人が交差する風景を描いたのは風景画の名手といわれた歌川広重。広重は多くの江戸の風景画を手がけたことで知られるが、本作品は「江都勝景」シリーズの一枚「よろみの渡し」である。鎧の渡しは、江戸橋に近い茅場町と小網町を結ぶ全長50メートル程の渡しで、源義家や平将門といった名だたる武将にまつわる伝説をもつ江戸の名所でもあった。画面上半分を占める武家屋敷は丹後田辺藩牧野家の上屋敷(現在の東京証券取引所)である。

この鎧の渡しについては、「市中取締類集」に興味深い記録がある。これによれば、嘉永3年(1850)、「百姓渡」であった時代から渡し守を代々相続してきた小網町二丁目の店借七右衛門は、運賃の値上げを求めて町奉行に訴え出た。その際に、家業困窮の実情を訴えるため詳細なデータを提出しており、それが鎧の渡しの実態を知る上で恰好の資料となっているので、ここで紹介したい。

まず極印を受けた渡し船の数は2艘、「水主」(船頭)は4人、運賃の受取役である「渡銭」が2人。絵をみると手前に描かれている渡し船の奥、茅場町側の船付にもう1艘の渡し船が描かれており、「市中取締類集」の記載と一致し、写実性の高さを

表1「鎧の渡し」1カ月の収支(嘉永3年)

収入	収入項目	運賃/銭		人数		合計/銭	
	運賃	1		37,000		37,000	
支出	支出項目	日給/銭	飯料/銭	日数	人数	合計/銭	
	給金	水主	150	150	30	4	36,000
		渡銭	53	150	30	2	12,180
		水棹代	280文×2本				564
		渡舟修繕費平均					5,000
		棧橋修繕費					1,500
	干潟浚費					1,500	
	支出計					56,744	

銭単位:文(数値は原史料のままとした)
『大日本近世史料 市中取締類集二』(東京大学出版会、p.342～)より作成

うかがわせる。また画中の渡し船には武士が描かれているが、武士・神職・僧侶・山伏・医師の運賃は無料であったことも知られる。武士、僧侶などを除く乗船人1人につき運賃1文、この運賃収入が1カ月銭37貫であったから、有料利用者数は1カ月3万7000人、1日あたりにすると約1200人程となる。画面奥に小さく描かれている江戸橋が近くにあり、無料の江戸橋を利用する者も多かったことを考えると、1日1200人の有料利用者数は決して少なくはない数といえるのではなかろうか。

経営面をみると、1カ月の支出は「水主」と「渡銭」の人員費、これにその外の支出など合わせた支出総額は銭56貫744文(表1参照)。したがって銭19貫700文の赤字を毎月計上しており、これが値上げを訴え出た原因であった。

渡し守の経営が困窮にいたった背景には、物価高(銭価安)、利用者数減少、「水主」の人員費の高騰が列記されている。このうち支出の約85%を占めた人員費の高騰の理由が面白い。「日本橋川筋だから特に通船数が多く(人員費がかさんでも)技量の高い船頭を選ばざるを得ない」とあり、水運の盛んな日本橋川ならではの事情があったようである。

改修工事による
休室、休館の
お知らせ

2014.12.1~2015.3.27 常設展示室(5・6階) 休室

※特別展、図書室、1F映像ホールは通常通り開室いたします。
※常設展示室休室にともない5Fミュージアムショップは休業となります。
1Fのミュージアムショップをご利用ください。

2015.3.9~2015.3.27 全館休館

■ : 全館休館日
■ : 常設展示室のみ休室
(特別展は開室)

1月							2月							3月							4月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
5月							6月							7月							8月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31							
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31														
24	25	26	27	28	29	30																						
31																												
9月							10月							11月							12月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31										
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																		
27	28	29	30																									

※一部施設の休室や、開館日を変更する場合があります。また、4月以降は予定です。最新情報は江戸東京博物館ホームページで確認ください。



図書室小展示

江戸博の「建物」—なぜ、このかたち?

江戸博といえば、まず建物を思い浮かべるといっても少なくないと思います。当館の建築設計は戦後の日本を代表する建築家の一人である菊竹清訓氏、構造設計は松井源吾氏が手掛け1993年(平成5)に開館しました。それから約22年の歳月を経て、ついに常設展示室のリニューアル工事が始まりました。全体のイメージは変わらず、しかし時代に合わせて変化するという、菊竹氏が提唱した建築理論を思い起こさせます。当館はこの運動の流れを酌んで設計されています。

図書室では現在、当館の構造や成り立ちがわかる資料を展示しています。また、粟津潔氏をはじめ、内装に携わったデザイナーに関する資料も併せて紹介しています。熟考を重ねた結果のこのかたち、このデザイン。それぞれに意味があり、想いの詰まったものです。それらを知ること、いつもは素通りしがちな展示室以外の場所も、興味深く見ることができるようではないでしょうか。

常設展示室休室中も7階図書室(入室無料)はご利用いただけます。



表紙解説

・(左より)玩具 きりん・らくだ・ぞう
・1950年代
・資料番号:(左より)96007107・96007103・96007108 全期間展示

この素朴な玩具は、東京下町の子供が使っていたものです。きりん・ぞうが木製、らくだはセルロイド製です。東京東部では、昭和戦前期から玩具製造が盛んで、子供のお小遣いで買える安価なものから輸出用まで、下町の町工場で作られました。特別展「探検!体験!江戸東京」では、東京山手と下町の子供の玩具を展示しています。



編集後記

1993年(平成5)に江戸東京博物館が開館してから、22年になるとうとしています。常設展示室は小学生の社会科見学や中学・高校生の修学旅行、小さなお子さん連れのご家族や、ご年配の方々そして海外からのお客様など、本当にたくさんの皆様にご来場いただいています。その常設展示室が、このたびリニューアルすることになりました。どのように生まれ変わるのか、3月28日のリニューアルオープンをぜひとも楽しみにお待ちください。(H)

江戸東京博物館 NEWS vol. 88

発行日 平成26年12月28日(日)
編集・発行 (公財)東京都歴史文化財団
東京都江戸東京博物館
〒130-0015
東京都墨田区横綱1-4-1
印刷・制作 株式会社 恒陽社印刷所

※無断転載を禁じます。
※展示・催し物等の日程・内容等は変更になることがあります。

お問い合わせ先

☎03(3626)9974(代表)

ホームページ <http://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

来館のご案内

- JR総武線 両国駅西口下車 徒歩3分
- 都営地下鉄大江戸線 両国(江戸東京博物館前)駅 下車A4出口 徒歩1分
- 都バス墨38・門33系統「都営両国駅前」下車徒歩3分

